



6/28  
(水)

## 七夕飾り、手作りの贈り物 喜んでもらえたら

6月28日、川床いきいきサロン「すずめの学校・和・笑クラブ」が町社会福祉協議会を訪問し、七夕飾りを贈呈しました。

これは、7月7日の七夕に合わせて、同サロンが毎年行っている活動の一環で、会員全8人で手作りしました。

施設利用者の長崎チリエさんは「サロンには、いつもお世話になっている。今回の七夕飾りもうれしい」と笑顔で話し、サロンの代表阿多松江さんは「この施設を利用する人に喜んでもらえたら」と思いを述べました。

七夕飾りの前で記念撮影



6/29  
(木)

## 川床中学校で福祉体験学習 地域共生社会を目指して

6月29日、川床中学校（西元ひとみ校長・47人）が社会福祉協議会と㈱カクイックスウィングの職員を講師に招き、福祉体験学習を開催し、高齢者の疑似体験と介護体験が行われました。

石田夢月さん（2年）は高齢者の疑似体験で「体が思うように動かさず、視界や聞こえが悪くなった」と高齢者と自身の状態との違いを理解し、今回の学びから「今後は高齢者に対して、聞き取れる声量で話したい。段差などの危険があれば手を差し伸べたい」と話しました。同協議会の小城睦佳さんは「地域共生社会を目指して、高齢者

高齢者体験とそれを介助する生徒ら



の気持ちを考えて行動できるようになってほしい」と思いを述べました。

6/30  
(金)

## 子ども第三の居場所起工式 地域に愛される拠点に

6月30日、「子ども第三の居場所」建設工事の起工式が獅子島片側地区で行われました。

同拠点は、放課後、子どもたちが大人の見守りの中、安心して学習や交流をする場で、子どもたちが将来に向けて、自信とやる気、思いやりやコミュニケーション能力などの生き抜く力を身につける支援を実施します。

川添町長は「獅子島の子どもたちの居場所がようやく実現できうれしく思う。地域の皆さんに愛される拠点となってほしい」とあいさつしました。

同拠点は令和5年12月末に竣工、令和6年2

起工式の神事



月に開設予定。地域からは子どもたちのより良い育成のため期待が寄せられています。